

第72回「社会を明るくする運動」 調布市意見発表会 意見発表文

学校名	調布市立調布中学校
代表者氏名	富田 さくら（とみた さくら）
学年	2年
題名	人と人が心でつながり合う
本文	
<p>私は社会を明るくするための一つとして、「人と人が心でつながり合うこと」が大切だと思う。なぜなら、人と人が心でつながり合うことで、相手を思いやるやさしさが生まれると思うからだ。そして、人と人が心でつながり合うためには「互いに認め合うこと」と「相談できる人をつくること」が必要だと考えている。</p> <p>一つ目の「互いに認め合うこと」が必要な理由は、認めてほしい人に自分のことを認めてもらえないと、自分のことを大切にできないからだ。そういう人は、周りの人のこともかけがえのない存在だと考えられず、大切にできない。一人一人がお互いに大切にかけがえのない存在だと認め合うことができれば、人と人が心でつながり合えると思う。私が通っている調布中学校では、生徒会が考えた「ステキな人み一つけた」という企画を行っている。これは、自分が友達にしてもらって嬉しかったことや、頑張っていたことなどを発表する企画だ。お互いのステキな部分を見つけ合うことによって、相手</p>	

を認められるし、自分も認めてもらえと思う。なので、このようなことが普段からできることが、互いに認め合うことにつながると思う。

二つ目の「相談できる人をつくること」が必要な理由は、信頼し合える関係をつくるのが大切だからだ。相談をすることで、自分のことを理解してもらい、相手を信頼し合える関係をつくれる。相手を信頼し合える関係をつくれば、人と人が心でつながり合うことができる。私には、相談できる人がいる。困ったことや悪いことがあったらその人に相談するようにしている。相談することで心がスッキリして気持ちも良くなるので、人と人が心でつながり合うために相談できる人をつくることも大切だと思う。

また、私は社会を明るくするために「犯罪を減らすこと」も必要だと思うが、犯罪を減らすためにも、人と人が心でつながり合うことが大切だと言えるのではないか。私はよくニュースを見る。少し前までは新型コロナウイルスについてのニュースを多く目にしていたが、最近は犯罪についてのニュースもよく目にする。ニュースを見ると、全国で様々な犯罪が起きていることが分かる。お金がなくて我慢できず、人のものやお店のものを盗んでしまう人。たくさんのストレスがたまって見ず知らずの人を刺してしまう人。麻薬に好奇心をもって、手を出してしまい、中毒症状から癖になり、何度も繰り返してしまうなど様々だ。これらのことはやってはいけないことだと誰もが分かっているはずなのに、中には犯罪をしてしまう人がいる。なぜ犯罪は減

らないのかを考えてみたとき、自分の気持ちを理解してくれる人がいないからむしゃくしゃした時や腹が立った時などに、心の中で嫌な気持ちがたまって、そのことをうまく吐き出すことができず、犯罪に走ってしまうのだと思った。しかし、人と人が心でつながり合ったら、相手を傷つけることもできないし、自ら命を絶つこともできなくなると思うので、犯罪を減らすためにも、互いに認め合うことが必要だ。また、何か困っていることをためこんでしまった結果、犯罪を犯してしまう人もいる。そのため、相談できる人をつくることも必要だ。

「互いに認め合うこと」と「相談できる人をつくること」ができれば、人と人が心でつながり合い、犯罪が減ると思う。心でつながれば、信頼が生まれ、犯罪に走りそうになったとき、自分を信じてくれた友達や家族の悲しむ顔がうかび、自分を止めることができると思う。社会を明るくするために、周りの人とのつながりから変える必要があるのではないか。私も自分の周りの人をかけがえのない存在だと思い、互いに認め合い、相談できる人の輪を広げ、人と人が心でつながり合える関係をつくっていきたい。